

「海外に子ども用車椅子を送る会」を
支援してくださる皆様へ

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 **26**ヶ国
9,395台

2023年6月現在

2023年9月号 vol. 29

あなたの
サポートを
求めています



世界の肢体不自由の子どもたちにもたちらに動ける喜びを



提供する

- 不要になった子ども用車椅子を首都圏特別支援学校のPTAや療育センターのご協力で収集しています。
- 個人の方は送料ご負担で送ってください。

送り先 福生市加美平3-7-13 森田祐和 宛



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- 入会希望者には入会申込書をお送りします。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1.4万円かかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する

- 会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- 毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

海外に子ども用車椅子を送る会
拝島倉庫
福生市熊川73番地
(青梅線拝島駅より徒歩16分)

毎月第2, 第4日曜日
kaigaikurumaisu.org

詳細はHPで



ホームページ <http://kaigaikurumaisu.org/>

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート
2023年9月 第29号



フィリピンの子どもたちに83台を贈呈へ

2023年4月 フィリピンへは2019年3月以来
3年ぶりの発送となりました。

フィリピンのパートナーであるJVR財団 (Jesus V. Del Rosario Foundation) に向けた車椅子等83台を送りました。その内訳は、車椅子(52台)、バギー(9台)、立位訓練器(6台)、座位保持装置(13台)、ストレッチャー(3台)などです。4月22日(土)にフィリピンのマニラ港に到着しました。

フィリピンのパートナーもコロナ禍のために車椅子を受け取っても子どもたちに届ける手段がないので、当面は受け取れないとのことでしたが、ようやくフィリピンにおいてもコロナ禍が下火になり受け取りが可能になったので発送を決断しました。また、同財団は、特殊な車椅子(ストレッチャーや立位訓練器、等)も活用できる病院とも連携しています。



ウクライナに三団体協同で車椅子を215台(第3便)送りました。

2023年5月 当会は、車椅子51台と歩行訓練器など10台を送りました。

ロンドン在住の木村ご夫妻の強い思いで始まったウクライナに車椅子を送るプロジェクトは第3便となりました。車椅子の提供は「希望の車いす」「飛んでけ車いす」、当会の三者で、今回も希望の車いすの谷理事長が取りまとめの労をとってくれました。準備できたのは、希望の車いすが110台、飛んでけ！車いすの会が30台、当会が子ども用51台と歩行訓練器10台です。車椅子を積載したコンテナ船は、5月に東京港を出てポーランドのグディニア港には7月10日頃に到着しています。

送り先は、ポーランドに避難しているウクライナ人の人道支援組織Future for Ukraine Foundation (FFU) です。車椅子の一部はポーランドに避難している子どもたちに届けられ、他は陸路でウクライナの子どもたちに届けられます。

このウクライナプロジェクトは、当初目標の500台(大人用、子ども用)から、現在は年末までに1,000台を送るように変更されています。当会も、引き続き子ども用車椅子を提供していく予定です。



戦争中ですので報告書を求めるのはなるべく控えていますが、初めて子供たちが車椅子に乗る写真が届きました。



パキスタンマイルストーン協会に未整備車椅子30台を贈呈へ

2023年6月NPO法人「さくら車いすプロジェクト」と共同で発送しました。

NPO法人さくら車いすプロジェクトの斎藤省氏から、パキスタンの「マイルストーン特別な人のための協会」に電動車椅子に加えて子ども用車椅子を送りたいので提供してもらえないかと要請がありました。今回は、車椅子4台、座位保持15台、歩行器7台、カーシート2台、立位訓練器1台、ストレッチャー1台、合計30台を送りました。これらの機器は、あまり整備等を必要としません。汚れを落としてから梱包してコンテナ積み地の坂東市へ届けました。子ども用の車椅子のみならず、いろいろなハビリ用具も入れて、見本としてパキスタンで作り始めるように促していきたいと斎藤氏から説明がありました。

坂東市でのコンテナ積み込みは6月18日に行われました。残念ながら当会からの参加者はありません。全てさくら車いすプロジェクトの関係者で行ってもらいました。コンテナは横浜港を6月25日(日)にパキスタンのカラチ港に向けて出発しました。到着したのは7月21日です。

パキスタンへの発送は2022年4月に続いて3回目です。今回の30台を加えて147台をマイルストーン特別な人のための協会へ送ったこととなります。同協会は高い技術力と力強い組織力があるので今後も車椅子を送り続けたいパートナーです。



■上記の贈呈で車椅子を提供して下さった学校等は下記のとおりです。

大泉特別支援学校、鎌倉養護学校、上菅田特別支援学校、北綱島特別支援学校、県立麻生特別支援学校、国立千葉東病院、小平特別支援学校、むらさき愛育園、さいたま市立ひまわり特別支援学校、千葉県立桜が丘特別支援学校、都立多摩桜の丘学園、都立町田の丘学園、若葉台特別支援学校、船橋特別支援学校、船橋夏見特別支援学校、松戸特別支援学校、県立平塚支援学校、川島ひばりが丘特別支援学校、都立墨東特別支援学校、府中けやきの森学園(以上20学校、等)

◀若葉台特別支援学校で車椅子の積み込みを手伝ってくれた先生とPTA役員の皆さんです。

上記の学校等に加えて、一般福祉法人や個人からの提供がありました。有難うございました